

伊達氏歴史めぐりマップ

伊達ものがたり
伊達八百年

初代
朝宗

十七代
伊達政宗



伊達氏発祥の地
伊達市

政宗ダテニクル

©福島ガイナックス / 福島県伊達市

龍、現る

時は群雄割拠の戦国時代。戦場で嵐を巻き起こした龍がいた。「奥州の伊達」を天下に知らしめた、伊達政宗である。

この武力、知力に優れた龍のルーツが、福島県伊達市にあることをご存じだろうか。伊達の郷で育まれた一族が、

昇り龍となって現在へたどり着くまで約800年。

— すべては伊達から始まった。



山形県

宮城県

福島県

1589年
摺上原の戦い
福島県磐梯町・猪苗代町
喜多方市

1589年
南会津の平定
福島県南会津地方

1585~86年
二本松城の攻略
二本松市

1585年
人取橋の戦い
田村市

伊達市
1600年
松川の合戦
福島市

1581年
初陣
相馬市

伊達政宗 1567~1636 の生涯

永禄10 (1567) 年に、出羽国米沢城 (山形県米沢市) で生まれる。幼名は梵天丸 (ぼんでんまる)。幼少の頃、痲痘にかかり右目を失明するが、15歳で初陣を飾り、18歳で伊達家を相続する。初陣である相馬氏との戦い以降、二本松の戦い、人取橋の戦い、摺上原の戦いなど連戦し、現在の福島県中通り地方と会津地方、山形県南部、宮城県南部を領する。天正18 (1590) 年に豊臣秀吉の命に屈し、小田原攻めに参陣。以降、秀吉の傘下に入るが、天正19 (1591) 年に葛西大崎一揆を扇動したとして岩出山 (宮城県大崎市) に移され、福島と山形にまたがる領地を没収された。慶長5 (1600) 年に関ヶ原の戦いが起こると、徳川家康の「百万石の御墨付」を受け上杉氏と松川の合戦等で戦うが、約束を反故にされ先祖伝来の地の奪還は叶わなかった。慶長6 (1601) 年に仙台藩祖となり領土の開発と上方文化の導入に力を入れた。寛永13 (1636) 年、江戸の伊達家上屋敷にて死去。

安土桃山時代			戦国時代			南北朝時代			鎌倉時代		
1601 (慶長6)	政宗は、仙台藩祖として新しい領地のため動き始める。		1567 (永禄10)	17代政宗、米沢で誕生。		1426 (応永33)	11代持宗、梁川城を拠点として、城下を整備し、梁川八幡宮を再建。		1333 (元弘3)	鎌倉幕府滅亡	
1600 (慶長5)	政宗、旧領を没収され、米沢から岩出山へ移る。領地は会津の蒲生氏郷に与えられた。		1548 (天文17)	足利義輝の命で乱が終結、植宗は丸森に隠居。晴宗は米沢へ城を移す。		1402 (応永9)	9代政宗、桑折赤館、伊達長倉館を拠点に三度関東軍を撃退。		1208 (承元2)	2代宗村、政争に敗れ但馬・若狭へ逃亡。のちに3代義広、粟野大館に居城を移す。	
1591 (天正19)	関ヶ原の戦いが起こる。東軍に属した政宗は、同軍の最上氏が西軍の上杉景勝と戦う際に援軍を送る。		1542 (天文11)	14代植宗、15代晴宗が親子で争い、南奥州を二分する天文の乱(てんぶんらん)へ発展する。		1383 (弘和3)	8代宗遠・9代政宗、置賜郡の長井氏を攻め、米沢方面に進出。		1192 (建久3)	源頼朝、征夷大将軍となる。	
1590 (天正18)	政宗、豊臣秀吉に服属。		1532 (天文元)	14代植宗、陸奥国守護職に任命される。		1337 (延元2)	北畠顕家、靈山城へ移る。靈山城は陸奥国府となる。7代行朝、顕家の足利尊氏討伐に同行。		1190 (建久元)	念西、伊達郡に移り姓を伊達に改め、伊達氏初代当主となる。	
1579 (天正7)	政宗13歳、三春城主田村清頭(の娘「愛姫」と結婚)。		1522 (大永2)	14代植宗、陸奥国守護職に任命される。		1307 (長祿3)	9代政宗、桑折赤館、伊達長倉館を拠点に三度関東軍を撃退。		1189 (文治5)	中村常陸入道念西、源頼朝より伊達郡を拝領。	

「政宗ダテニクル」

伊達市と福島ガイナックスが共同で制作したアニメ。17代伊達政宗と政宗を支える歴代の当主たちが繰り出す戦国青春ラブファンタジー。舞台は「伊達氏発祥の地」福島県伊達市。

伊達市 GAINAX

17代 政宗 伊達政宗までのルーツ

初代 朝宗からたどる政宗への道。長きにわたって栄える“伊達氏”とは？



歴代伊達氏プロフィール

初代 朝宗
1129-1199

勝利の地で伊達氏の祖となった

常陸国伊佐郡の豪族で、源頼朝とは縁戚関係にあたる。奥州合戦では、頼朝軍の前衛として出陣。飯坂大島城主の佐藤氏(のちの佐藤氏)が守る敵の最前線基地攻略の功績で、佐藤氏の地盤で激戦地・阿津賀志山がある陸奥国伊達郡を与えられ、姓を伊達に改めた。伊達郡高子岡に居城したと伝えられている。

4代 政依
1227-1301

信仰深く、伊達五山を定めた

仏教の信仰が厚く、二宗五山(にそうごさん)にちなんで東昌寺・満勝寺・光明寺・観音寺・光福寺を開山のちに「伊達五山」とよばれた。

7代 行朝
1291-1348

和歌にも通じる南朝の重臣

南朝の重臣として、陸奥守の北畠顕家に仕えた。和歌にも通じており、藤原朝村の名で、「風雅和歌集」などに作品が収められている。のちに名を行宗に改めたといわれている。

9代 政宗
1353-1405

独眼竜がその名にあやかっただ、もうひとりの政宗

父・宗遠と置賜の長井氏を滅ぼして、米沢を手に入れたほか、時の鎌倉公方(鎌倉公方)が領土割譲を求めてきたことを拒み、3度にわたって撃退した。足利義満の生母の妹(陸奥守)を妻とする。文武に秀で、伊達氏(中興の祖)と呼ばれる。

11代 持宗
1393-1469

梁川に移り、確固たる勢力を築いた

室町幕府の鎌倉府に反旗を翻して戦った後、後に寺社造宮や反乱の鎮圧で功を挙げ、居城を梁川城に移し、梁川八幡宮を再建した。持宗が、将軍の名前を一字もつて「歴代当主の名にない」ことを慣例とした。

12代 成宗
1435-1487

献上品で、実力者ぶりを見せつけた

上洛して、足利将軍家へ砂金・馬・太刀など膨大な進物を献上した。また、東山文化を取り入れた梁川城本丸庭園を造った。

14代 植宗
1488-1565

内政強化で、戦国の世に備えた

室町幕府では前例のない陸奥国守護職に任じられた。百姓の課税について示した「棟役日記(むねやくにじき)」、領内の法令集「塵芥集(じんかいしゅう)」、田畑の課税について示した「段銭帳(だんせんちょう)」を作成し、領国の経営を行った。勢力拡大のため、子供たちを近隣の有力武将と政略結婚させた。

15代 晴宗
1519-1578

伊達から米沢へ一族を導いた

急な改革をすすめた父・植宗に不満がつづり、桑折西山城に幽閉されたことが、天文の乱へ発展した。はじめは植宗側が優勢だったが、形勢が逆転し、晴宗優位の内に終結した。その後は米沢城に居城を移し、天文の乱の後始末に尽力した。

16代 輝宗
1544-1585

領土を回復、息子へ未来を託した

天文の乱の影響で縮小した領土の回復のため、相馬氏と戦った。織田信長に鷹を贈ったのはじめとして、北条氏政・柴田勝家と書簡や進物をやりとりするなど、幅広く外交活動を展開した。41歳の若さで臨終の身となるが、降伏を願い出た。本松城主の畠山義継に拉致されて洛命する。



7つのエピソード 17代政宗

武勇と智謀に優れる

奥州合戦において、両軍の睨み合いを破る勝利を挙げた初代朝宗、時の権力者に屈せず領地を守るために戦った9代政宗と伊達氏の歴史には武にまつわるエピソードも多い。17代政宗が直接指揮を執って戦った合戦数は、他の武将と比べて多いといわれ、不利な戦いを引き分けに持ち込む能力も高かったといわれている。

敗色濃厚だった一人取橋の戦いを引き分けに終わらせ、陰には、政宗の裏工作があったといわれ、秀吉の死後はいち早く家康と結ぶ身ぶり、生き残りをかけた智謀が現れたものといえる。

名僧の教育を受ける

政宗は、禅宗の名僧である虎哉宗乙(こさいそういち)の教育を受けて育った。仏法や漢詩などの教養のほか、一国の大將に必要な心構えやものの見方を徹底的に教え込まれたという。

頼りになる存在

7代行朝は、北畠顕家の家臣として、奥州の行政・司法・立法を司る評定衆(よじょうしゅう)として活躍した。北朝の足利尊氏の追討軍にも参加しており、頼りになる存在だったといえる。

政宗は、3代将軍徳川家光から非常に尊敬されていたという。幕府からすれば、家康と渡り合い、最後まで天下を諦めなかった危険人物。しかし、実戦経験が豊富で、自らを将軍として見立ててくれた政宗は、家光にとって父親代わりの存在だったといえる。政宗は、将軍の前でも脇差帯刀を許されており、病床にいたときには家光自らが見舞いに来たほどだった。

文化人でもあった

伊達氏の歴史は、歌をはじめとして文事に優れていた。政宗も、歌詩書能茶道などあらゆる教養を身に付け、深みを増すために、京の文人とも交流を重ねていた。さらに、文化的なたしなみを諸大名との友好手段として利用していたといわれ、秀吉とは茶や能を通じて交流をはかっていた。政宗が晩年に残した漢詩が(以下)。

「馬上少年過 世平白髮多 殘軀天所赦 不樂是如何」
意味：若い頃は馬に乗って戦場を駆け抜けたが、世は太平になって自分にも白髪が増えた。好みに楽しまないでどうするか。天もきつとお許しになるだろうか。

アピール上手

11代持宗や12代成宗が、伊達領内内の数多くの献上品とともに上洛したのは、伊達家が奥州随一の実力者であることと知らしめる意図があったといわれ、武力以外のアピールもぬかりない、スマートさが見てこれる。

政宗率いる伊達軍が、秀吉の朝鮮出兵陣式に現れた時、そのきらびやかさに、見物人はもちろん秀吉も歓声をあげたという。金色のこがった陣笠をかぶり、銀箔の太刀を腰に付けた足軽隊。黒鎧を身にまとい、金色の半月が付いた兜をかぶった騎馬隊は、馬具を虎や豹の毛皮で飾るこだわりで、この演出には、派手好きの秀吉に、ほかの武将とは違うことをアピールする狙いがあったといわれている。

領地の整備に熱心

伊達氏の歴史は、梁川城や桑折西山城など、拠点となる城を何度か変えて、伊達家を存続させてきた。城下の整備は、その都度必須だったであろう。

政宗も、仙台藩が誕生し、太平の世になってからは、運河の整備や北上川の開拓などもつばら領地の開発に力を入れた。また、上方の文化を積極的に取り入れて、大崎八幡宮や瑞巖寺などの建造物も残している。

伊達の三傑

政宗には「伊達の三傑」と称される、3人の忠臣がいた。幼い政宗に武芸を仕込み、後に外交・献策で支えた片倉景綱(かたぐらかげつな)。戦で先陣を切り、武功も多かった伊達成実(なりざね)。親子二代で仕え、奉行衆として行政面で支えた鬼庭(きにわ)綱元(つなもと)もにわたるものである。

政宗が家督を相続する際に、家臣団も代替わりしているが、輝宗も能力を知る3人が周辺を固め、輝宗時代の忠臣も、引き続き伊達家を支えている。未来のため、輝宗は信頼できる優れた家臣を統制して、息子へ残したのではないだろうか。

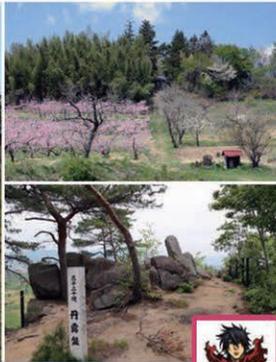
伊達氏発祥の地 高子岡城

エリア 保原～伊達～桑折町地区 地図はP16-20

高子岡城 (たかこがおかしょう) 跡



保原



伊達氏の礎となった城跡

初代朝宗が築いたとされる、伊達氏初の城館跡。山頂には、鎮護の神として亀岡八幡宮を祀ったといわれ、現在も白い鳥居をくぐった先に八幡神社が鎮座しています。神社の奥には高子二十境の丹露盤があり、伊達市内を一望することができます。



初代朝宗

アクセス 阿武隈急行「高子駅」から徒歩約10分
 福島飯坂ICより約20分 所 保原町上保原字高子



伊達

はこぎあたご 箱崎愛宕神社



4

獅子舞で知られる歴史ある神社

天文7(1538)年に、鎮火防災の神を勧請して創設されたといわれています。春の例大祭で奉納される獅子舞は、県の重要無形文化財に指定されています。一説によると、箱崎愛宕山の金鉱山の鉱夫たちが始めたそうです。

アクセス JR「伊達駅」からタクシー約15分
 福島飯坂ICより約20分 所 箱崎愛宕山1



保原

とうこうじ 東光寺

9代伊達政宗が眠る



5

伊達家中興の祖、9代政宗の墓とされる供養石塔と、寺号「儀山東光寺殿」と書かれた位牌があります。伊達家の紋は丸に豎三つ引き両ですが、この寺の供養石塔の紋は丸に横三つ引き両となっているのが特徴です。



9代政宗

アクセス 阿武隈急行「保原駅」から徒歩約25分
 福島飯坂ICより約25分 所 保原町柱田字上ノ寺38



桑折町

かんのんじ 観音寺

伊達五山の中で唯一現存する寺院



6

3代義広の菩提を弔うために、4代政依が建立しました。当初は臨済宗でしたが、江戸時代に浄土宗と宗派を変え今に至っています。丈六の木造聖観音菩薩坐像や阿弥陀如来坐像など、福島県と桑折町の指定文化財を多く有しています。



4代政依

アクセス JR「桑折駅」から徒歩約15分
 国見ICより約15分 所 桑折町万正寺字坂町20番地



桑折町

こおりにしまじょう 桑折西山城跡

伊達氏の全盛期を知る山城



7

本丸跡の碑

丘陵の先端にあり、麓に産ヶ沢川が流れる要害の地に築かれた城です。14代植宗は梁川城から城を移し、分国法である塵介集を定め、伊達氏の全盛期を築きました。勢力は急激に拡大しましたが息子・晴宗と対立し、ついに城内の座敷牢に幽閉されて、天文の乱へ発展しました。乱の終結後は空き城となりましたが、時を経て戊辰戦争時には仙台藩の砲台場となりました。

アクセス JR「桑折駅」から徒歩約25分
 国見ICより約20分 所 桑折町万正寺字坂町

桑折町の史跡「お問い合わせ先」桑折町産業振興課 TEL 024-582-2126

保原

たかこぬま 高子沼



2

政宗の金山伝説が生まれた沼

17代政宗には、豊臣秀吉に伊達郡を召し上げられたとき、金の精錬所跡を沼に変えて隠したという逸話があります。昭和初期に、沼底から中世のものと見られる鉱石粉砕用石臼や廃鉱石が多数出土したことから、精錬所の存在が伝えられています。



17代政宗

アクセス 阿武隈急行「高子駅」から徒歩約10分
 福島飯坂ICより約15分 所 保原町上保原新沼井



桑折町

しょだいとむね 初代朝宗の墓

崇敬される伊達氏の祖



3



初代朝宗

後に「伊達五山」とよばれる、4代政依が建立した寺院のひとつで、初代朝宗の菩提寺だった満勝寺の跡とみられています。五輪の石塔は、江戸時代に伊達宗家23代当主重村が建立したもので、伊達家は参勤交代の途中立ち寄って、墓参していたといわれています。

アクセス JR「桑折駅」から徒歩約20分
 福島飯坂ICより約15分 所 桑折町万正寺字下万正寺

8

9

14代政宗 戦勝祈願の地、梁川

エリア③ 梁川～国見町地区 地図はP16-19・22-23

梁川
(やながわ) 八幡神社



梁川

政宗も参詣した伊達氏の氏神

古くから梁川の八幡宮として信仰があった神社で、伊達氏がこの地に来てからは、伊達氏の氏神である「亀岡八幡」を合祀して、伊達六十六郷の惣社として栄えました。若き政宗もこの神社で戦勝祈願をしています。長い参道沿いには、藤原秀衡の建立と伝わる、今も礎石が残る三重塔跡や、龍宝寺関連の鐘樓、観音堂などが並んでいます。

アクセス 阿武隈急行「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩約15分
国見により約20分 所 梁川町八幡字堂庭11



17代 政宗

梁川

いわじぞう 岩地蔵



11

アクセス 阿武隈急行「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩約15分
国見により約20分

伊達氏ゆかりの寺を
しのぶ岩地蔵

広瀬川縁にある磨崖仏群で、風化が進んでいますが、五輪塔と見られるものを確認できます。かつて、岩地蔵の下は、伊達五山のひとつである東昌寺へと続く参道があったようです。近くの古町観音堂は、利生寺や利生殿の別号もあり、東昌寺に関連するものと見られています。

梁川

ふるまじかんのだう 古町観音堂



12

アクセス 阿武隈急行「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩約15分
国見により約20分 所 梁川町古町23

市指定文化財の
観音様を祀る

信達三十三観音巡礼の第三十番札所です。15世紀に作られた木造聖観音菩薩坐像は、寄木造りで優い顔立ちです。伊達家の建立といわれており、文明17(1485)年に12代成宗が再建したと伝えられています。貞享2(1685)年に修理され、当時の梁川藩主松平義昌やその家老の銘が見えます。

梁川

こうこくじ 興国寺



13

アクセス 阿武隈急行「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩約10分
国見により約15分 所 梁川町字大町二丁目49

政宗と戦った猛将
須田氏の菩提寺

上杉景勝の家臣で梁川城代となった須田長義が、旧地・信濃国の興国寺から和尚を招いて開山しました。猛将で名高い長義は、松川の合戦で伊達本陣を背後から突き、敗走させた上、竹に雀の伊達軍の陣幕を奪ったといわれています。境内には、須田満親・長義親子の霊廟である浄慶廟があります。

梁川

やながわてんじんしゃ 梁川天神社



14

アクセス 阿武隈急行「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩約10分
国見により約15分 所 梁川町字上町10

800年以上続く
歴史ある社

社伝では、伊達氏の遠祖に当たる山陰中納言政朝が菅原道真を祀って建立したといわれています。その後、初代朝宗が再興し、15代晴宗が現在地に移しました。境内の石灯籠は、松前藩の家老、蠣崎波響(かきざきはきょう)が奉納したもので、美術工芸品としても価値の高い作品です。

梁川

りゅうほうじ 龍宝寺



9

アクセス 阿武隈急行「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩約15分
国見により約20分 所 梁川町八幡字堂庭13-1



梁川八幡宮の旧別当



12代 成宗

梁川八幡宮に隣接していて、寺の山門、鐘樓ともに茅葺き屋根で趣があります。境内の鬼石観音堂は信達三十三観音巡礼の第三十三番札所で、12代成宗が再建した記録が残っています。なお、現在の観音堂は江戸時代に建立されたといわれています。

梁川

やながわじょう 梁川城跡



10



©福島県立博物館

鎌倉時代に築城されたと伝えられ、11代持宗から14代植宗の時期に伊達氏の本拠として使用されました。11代持宗が城と城下町を整備し、12代成宗が京都の東山文化を強く意識し、「心字の池」を含む本丸庭園を造ったといわれています。伊達時代最後の城主・伊達鉄斎入道が居城した折に、17代政宗が逗留しました。

アクセス 阿武隈急行「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩約10分
国見により約20分 所 梁川町字鶴ヶ岡1





17代 政宗



15

城跡から梁川方面を望む

9代政宗の弟である孫三郎宗行が大條(おおえだ)氏として分家して居城したといわれています。慶長5(1600)年に起きた、北の関ヶ原と呼ばれる松川の合戦において、17代政宗はこの城に陣を敷き、梁川城の須田長義と戦いましたが、伊達氏時代より堅固になった梁川城と、須田の高い攻撃力に苦しみました。

アクセス 阿武隈急行「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩約40分
国見ICより約20分 所 梁川町東大枝字館



ふくじゆじ 福聚寺

初代朝宗夫人が眠る寺



4代 政依



16

伊達五山のひとつである光明寺は、4代政依が、初代朝宗夫人のために建立した寺です。光明寺は、福聚寺を含む沢一帯にあったと見られ、夫人の墓を守るため、福聚寺が残ったと考えられています。

アクセス JR「貝田駅」から徒歩約25分
国見ICより約15分 所 国見町光明寺字6-1



ふたえぼり 二重堀跡

頼朝を迎え撃つ
奥州藤原氏の防塁跡



下二重堀地区

17



国道北側地区(阿津賀志山)

18



7~8月が見頃・下二重堀の中尊寺ハス

奥州合戦の際、藤原泰衡は源頼朝と対峙するため、約3kmにわたる大規模な防塁を築き上げました。阿津賀志山から始まり、東方向へ伸びる防塁は二重の堀と、三重の土塁からなります。鎌倉幕府の全国支配を決定づけた重要な戦いの跡地で、福岡市の元寇防塁、太宰府の水城(みづき)防塁とともに日本三大防塁に数えられています。

アクセス (下二重堀) 阿武隈急行「藤田駅」からタクシー約15分 国見ICより約15分

つきみだて 月見舘跡

主を異にした親子の居城



19

南側の真徳寺付近が大手門跡と見られ、本丸跡・二の丸跡・三の丸跡・空堀跡があります。戦国期には、須田伯耆(ほうぎ)が居城したといわれています。須田氏は伊達輝宗家臣となり、大波大膳の家中に属したそうですが、息子は父の死を巡る政宗の処遇に不満を持ち、伊達家を離れて蒲生氏や上杉氏に仕えました。

アクセス 阿武隈急行「保原駅」からタクシー約25分
福島飯坂ICより約45分 所 月舘町月舘字月見舘山1(月見舘森林公園)



国見町の史跡《お問い合わせ先》国見町まちづくり交流課 ☎024-585-2238

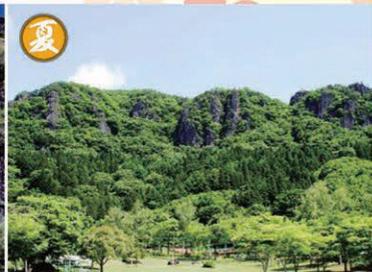
霊山と伊達氏ゆかりの歴史

エリアは 霊山~月舘地区

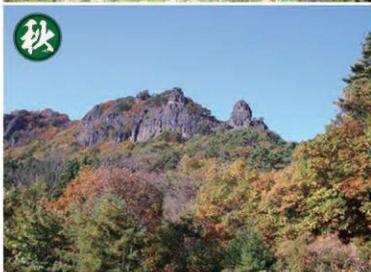
地図はP24・25



春



夏



秋



冬

りょうぜんじ 霊山寺跡 岩山に築かれた
東北山岳仏教の中心



10代 氏直

貞観元(859)年に天台宗の僧、慈覚大師が開山したと伝えられる、北の比叡山ともいえる大伽藍でした。南北朝の戦乱で焼滅しましたが、近年の調査で、伊達氏が室町時代、麓に再興したことがわかりました(宮脇廃寺跡)。これまで、北山文化の影響を受けた庭園跡や瓦などがみつがっています。なお現在の霊山寺は、江戸時代初期に再再興されたものです。

りょうぜんじょう 霊山城跡 南朝の拠点
霊山国司館



7代 行朝

陸奥守として京都から奥州に下った北畠顕家は、南朝の立て直しのため、伊達行朝をはじめとする南朝側武将が守る霊山へと、多賀城から国府を移しました。顕家亡き後も9年間持ちこたえましたが、北朝軍に包囲されて霊山寺もろとも炎上し落城しました。現在、霊山にはハイキングコースが整備され、四季折々の美しい景色とトレッキングを楽しむことができます。

アクセス 阿武隈急行「保原駅」からタクシー約30分
福島飯坂ICより約50分 所 霊山町石田字宝司沢(登山口)



かけだじょう 懸田城跡

懸田御前の思い出を
桜が彩る



21

戦国期の大名・懸田俊宗は天文の乱で滅ぼされました。伊達輝宗の娘である夫人は、懸田御前と呼ばれる美しい姫でした。横恋慕した家臣の中島伊勢が、乱に乗じて城を攻め、御前を宮城県丸森町の金山城に連れ去りますが、悲しみにくれた御前は、井戸に身を投げたといわれています。現在、桜が美しい茶臼山(ちゃうすやま)公園の中腹には、御前ゆかりの観音堂が建っています。

アクセス 阿武隈急行「保原駅」からタクシー約20分
福島飯坂ICより約35分 所 霊山町掛田字古城山



伊達氏歴史めぐりの旅へ あなたをいざなう



すべてはここから

伊達氏初代の居城といわれる高子岡城は、伊達市保原町高子地区に築られました。

春、小高い場所から北の方角を眺めると、阿武隈川の流れに沿った伊達平野に、あふれんばかりの桃や桜の花が咲き競います。

初代朝宗も、伊達の豊かな自然と大地の恵みを感じながら、一族と郷の未来を思い描いていたことでしょう。

豊かな自然と、遙かな歴史に彩られた伊達氏のふるさとへ、いざ出発！

伊達氏歴史めぐりマップ

伊達八百年ものがたり CONTENTS



- ② 龍、現る
- ③ 伊達政宗の生涯
- ④～⑦ 17代政宗までの400年◆年表
伊達政宗までのルート
- ⑭⑮ 伊達氏歴史めぐりの旅へあなたをいざなう
- ⑯～⑲ 17代政宗が渴望した伊達の地
伊達八百年ものがたりを感じる広域マップ
- ⑳ 17代政宗からの400年◆年表
- ㉘～㉛ 伊達市観光カレンダー
伊達のおもてなし 見どころ 楽しみどころ

福島県伊達市へのアクセス《裏表紙》

コラム

- ⑯ 其の一 政宗の隠れ日
- ⑰ 其の二 高子二十境
- ⑱ 其の三 慶姫の御興入れ
- ㉞ 其の四 鬼石観音堂
- ⑳ 其の五 田元地蔵尊、鈴賣い幽霊伝説
- ㉟ 其の六 桃畑と養蚕

伊達氏発祥の地 高子岡城

- ⑧⑨ 保原～伊達～桑折町地区
史跡案内
- ㉠⑲ エリア⑤マップ
保原駅前まち歩き

17代政宗戦勝祈願の地、梁川

- ⑩～⑫ 梁川～国見町地区史跡案内
- ㉡⑳ エリア⑥マップ

霊山と伊達氏ゆかりの歴史

- ⑬ 霊山～月館地区史跡案内
- ㉢㉣ エリア⑧マップ
伊達駅前まち歩き

- ㉦ 県外の史跡案内

伊達八百年 ものがたりを感じる 広域マップ



伊達郡の歴史
大化の改新(645年)後、信達盆地に信夫郡が置かれ、当地方は長らくその一部とされていたが延喜6(906)年に信夫郡が分割され伊達郡が設置された。鎌倉時代より戦国時代までは奥州の雄伊達氏に、徳川時代に入って、初めは上杉氏に、その後は天領や各藩に分割されて支配されてきた。明治に入ってからは、最初は二本松県に編入されたが、明治5(1872)年に福島県6郡の一つとして編成されて以来、幾度かの分離併合を経て今日の形に至っている。
(『福島大百科事典』伊達郡の項より)

コラム其の一

政宗の隠れ白

伊達市伏黒の水雲神社は、その昔、洪水で摺上川から流れ着いた大白をご神託によって祀ったことから始まったといわれています。さらにこの大白には、戦に取れた政宗が、身を隠して難を逃れたという口伝が残っています。二つの伝説が残る神社は、今もなお地元の人に敬われています。



展望台から
愛宕山の展望台に上ると、南西の方向に摺上川が阿武隈川に流れ込んでいくのが眺望できます。



観音寺から東北自動車道国見ICまで6km 約15分

阿津賀志山防塁から東北自動車道国見ICまで4km 約15分

阿武隈川の埋もれ木
埋もれ木とは川底や山中の土の下、海底などに埋もれ悠久の時を経た木のこと。阿武隈川の埋もれ木は中世の和歌にも詠まれています。12代成宗が上洛して貢物をした中に、香炉の灰として貴重な阿武隈川の埋もれ木も灰もありました。



舟運
阿武隈川舟運の歴史は古く、江戸期から東北本線が開通する明治期まで約200年は、小鶴飼舟による年貢米の輸送が盛んに行われていました。

粟野地藏尊
弘法大師を慕う娘が、大師の飲み残した茶を飲んで身もりました。子供が三歳の折、再び訪れた大師は子供を泡に返し、娘の妄念であることを悟らせたそうです。この時大師が作った地藏が「泡の地藏」で、後に「粟野地藏」になりました。

高子岡城跡から東北自動車道福島飯坂ICまで10km 約20分

広瀬川で大発見!!
梁川城跡の南を流れる広瀬川。1982(昭和57)年、川底の岩盤からパレオパラドキシアという大型哺乳類の化石が発見されました。1500万年から1600万年前に生息していた、カバに似た姿の草食動物でした。周辺では貝化石も出土していて、古代より豊かな土地だったことが想像できます。(世界的にも珍しい骨格標本は、福島県立博物館に収蔵されています)

春のオススメコース

- 高子岡城跡
- 梁川城跡
- 希望の森公園
- 梁川八幡神社
- 大枝城

秋のオススメコース

- 高子岡城跡
- 梁川城跡
- 梁川八幡神社
- 霊山神社

霊山神社から東北自動車道福島飯坂ICまで30km 約45分

伊達氏発祥の地 高子岡城



コラム其二

高子二十境

江戸時代中期の漢文学者・熊阪覇陵が気に入った20の場所に名を付け、漢詩を詠みました。息子・孫と三代で唱和し、当時気鋭の谷文晁が挿し絵を添えて江戸、名古屋でも出版。高子二十境は春も秋も美しい、歩いて楽しむ勝地です。

丹露盤からの眺め



1 高子岡城跡
初代朝宗が城館を構える

2 高子沼

23 ニットランドふくしま あみだす

25 薬師堂
様々な種類のサクラ

保原城跡
鎌倉初期に伊達氏が創始と伝わる

22 旧亀岡家住宅
明治の擬洋風建築

保原陣屋跡
陣屋のケヤキと黒松

長谷寺
陣屋から移築された長屋門

政宗 ダテニクル グッズ有!

観光案内所・売店
☎あり 024-529-7779 営10:00~18:00 休毎週水曜日

阿武隈急行保原駅
明治時代の洋風建築を思わせる洒落た外観の駅舎で「東北の駅百選」に選ばれています。駅構内は保原駅コミュニティセンターになっています。1階には伊達市物産協会の売店や観光案内所があり、売店では特産の桃を使用した果汁100%ジュースや、伊達鶏を使ったカレーなどを販売しています。

つっこ引き祭り
伊達市保原町は市場町として発展した地域です。厳島神社のつっこ引き祭りは江戸時代中期、享保年間に大飢饉があり、当時の梁川藩主 松平通春公のちの尾張藩主徳川宗春が領民を集め、種もみを与えたところ、翌年大豊作となったことから始まったと言われています。

保原駅前まち歩き

伊達市観光物産交流協会

マフラー タオル

クリアファイル

17代政宗 戦勝祈願の地、梁川



0m
100
200
300

8 梁川八幡神社
17代政宗も参詣

9 龍宝寺
成宗再建の
観音堂

愛姫
輿受渡し
の場所

本殿
鐘楼

参道
鬼石観音堂
三重塔跡
敵島神社

伊達氏ゆかりの公園
政宗
にぎわい広場

福島紅葉漬

もり医院
食堂よしかわ

13 興国寺
須田長義の墓

14 梁川天神社
15代晴宗がここに移す

徒歩で...

800m	400m	700m	400m	200m	500m	梁川城跡
10分	5分	9分	5分	3分	7分	(心字の池)
梁川八幡神社	梁川天神社	興国寺	称名寺(大銀杏)	古町観音堂	岩地蔵	

輪王寺跡
9代政宗夫人
蘭庭禪尼の菩提寺



北三の丸土塁と堀
慶長5(1600)年に政宗は伊達郡奪取のため梁川城を急襲しましたが、須田長義らに撃退されました。北三の丸の土塁は特に高く、堀の幅も広く、伊達氏時代よりも堅固な城になっていました。

梁川郵便局

まちな駅やながわ
平成30年4月
オープン

安養寺

北三の丸跡
大学館と言いつわる

梁川体育館

味処八幡

やながわ
きぼうのもりこうえんまえ

梁川プール

やながわ
希望の森公園
ミニSL

産業伝承館

称名寺
尾張の分家の菩提寺

陣屋中庭

代官所跡

本丸跡庭園
心字の池

浅間神社
朝宗が創建

梁川寿健康センター

やながわ希望の森公園は
桜の名所として知られています

梁川美術館

時代寿し

射箭神社

玉泉堂

藤川屋

福島信用金庫

マザーヤマキ

10 梁川城本丸跡
17代政宗が逗留

梁川城跡

常栄寺跡
伊達家宿老の菩提寺

眺望地点

11 岩地蔵
広瀬川縁の磨崖仏群

眺望地点

広瀬川の堤防から岩地蔵を眺めまじよう

東昌寺跡
200人の僧の大寺院

コラム其三

愛姫の御輿入れ

梁川八幡神社本殿の左手に、政宗のもとへ嫁いできた三春の田村氏の娘・愛姫を、伊達家臣が出迎えたと言われる場所があります。敵対する諸大名の襲撃を避けるためか、御輿入れは雪景色の中ひっそりと行われたようです。山岡荘八著『伊達政宗』では、両家臣が連歌を交わして御輿を引き渡す場面が描かれ、その後の大河ドラマでも名シーンとなっています。

コラム其の四

鬼石観音堂

龍宝寺境内の鬼石観音堂には、坂上田村麻呂にまつわる伝説があります。延暦年中(782~806)、田村麻呂はこの地で賊に襲われます。危うく命を落とすところでしたが、聖観世音菩薩にすがったところ、突然大鬼神が現れて賊を追い払ってくれたそうです。大鬼神は阿武隈川に姿を消し、感謝した田村麻呂は観音堂を建立したといわれています。

霊山と伊達氏 ゆかりの歴史



コラム其の五

田元地蔵尊、鉛買ひ幽霊伝説

毎夜、掛田の町へ鉛を買いに来る不思議な女性がいました。後をつけていくと女は墓の中へ入っていき赤ん坊に鉛を舐めさせていました。女は柱田の西沢地区に住む遠藤という武士の妻で、身重のまま亡くなったのです。この子は成長して立派な武士となり16代伊達輝宗の家臣として活躍しました。そして輝宗から四十九院つるしんを名乗ることを命じられました。

大進局と幻の将軍・貞暁

大進局(おおいしん)のつぼは初代朝宗の娘で源頼朝の側室となり文治2(1186)年に貞暁(じょうぎょう)を産みました。伊達氏は承元2(1208)年に密かに貞暁を次の将軍に就けようと画策し失敗。10年後、北条政子は貞暁を次の将軍にと懇願しましたが、自ら一眼を潰して辞退したといひます。

霊山城ゆかり 北島頭家

(まはらだけ・あきいえ)
文保2(1318)年生まれ、鎌倉時代末期～南北朝時代の公卿・武家。政治手腕が高く、戦上手の美青年であったと伝えられています。弱冠二十歳で討死し霊山神社に祀られています。

長岡天王祭

「天王さま」の名で親しまれる熱田神社と八雲神社のご神体をひとつに合わせることから「嫁入り祭」とも呼ばれ、県十大祭のひとつです。

修験伊達家極楽院旧跡

14代種宗の息子が入嗣

長倉館跡

伊達氏の被官、長倉氏の居館

義民斎藤彦内の墓

寛延2(1749)年の冷害凶作で百姓一揆。「天狗廻状運動」指導者の墓

伊達駅前 まち歩き

駅なかプラザ

伊達駅なかプラザ
TEL 024-584-2282
営10:00～17:00
休毎週月曜、年末年始

北島頭家を記る霊山神社の社殿を模して昭和14(1939)年に現在の駅舎が完成。木造武家造りが美しく東北の駅百選に選ばれています。木製のベンチ、高い天井、近くの飯坂温泉をイメージしたタイルなど、雰囲気があります。広い待合室を利用した地元産品の直売所「駅なかプラザ」は、気軽に立ち寄れる活気あるコミュニケーションスペースです。

◆黒字=伊達家の主なできごと ◆青字=福島県伊達市の主なできごと

1598 (慶長3)	信達地方が上杉景勝領となり、須田長義が梁川城代として入部。
1613 (慶長18)	17代政宗、遣欧使節団を派遣。支倉常長らに乗せたサン・ファン・パウティスタ号が出港した。
1639 (寛永16)	18代忠宗、仙台城に二の丸を造営。
1660 (万治3)	20代綱村、わずか2歳で家督を相続。幼年のため、大叔父の伊達宗勝(一関伊達氏)が後見人として権勢をふるうが、家臣の不平不満を生むことになった。
1664 (寛文4)	米沢藩主・上杉綱勝が江戸で急死し、米沢藩は15万石に削封される。これにより、信達地方は幕領となった。
1671 (寛文11)	伊達宗倫(登米伊達氏)と伊達宗重(湧谷伊達氏)の境界争いが、幕府の裁きに発展。その際、宗倫側の奉行・原田甲斐宗輔が宗重を斬殺する事件が起こった(伊達騒動)。
1671 (寛文11)	幕命により、河村瑞賢が阿武隈川改修。年貢米を江戸まで運ぶ舟運が発達。やがて蚕種・生糸・織物も輸送され、大いに栄えた。
1683 (天和3)	松平氏梁川藩3万石が置かれた。
1724 (享保9)	21代吉村、長谷川養辰に命じて、伊達氏歴代当主の肖像画集『伊達家歴代画真』を制作させる。
1730 (享保15)	松平通春が尾張家を嗣ぎ、梁川村などは幕領となる。
1774 (安永3)	梁川・伏黒・栗野など、阿武隈川沿いの村々が幕府より「奥州蚕種本場」の称号を得る。
1806 (文化3)	現・月館町に立花氏下手渡藩一万石が置かれた。
1831 (天保2)	28代斉邦、公共図書館の先駆けとされる「青柳文庫」を開設。
1849 (嘉永2)	中村善右衛門、考案した蚕当計(蚕用温度計)の使用方を記した『蚕当計秘訣』を著す。
1868 (慶応4/明治元)	29代慶邦、奥羽越列藩同盟の盟主として戊辰戦争を戦うが、薩長軍に敗れて降伏。
1869 (明治2)	伊達・信夫・安達3郡が福島県となる。
1900 (明治33)	31代邦宗、屋敷内に農場「養種園」を開く。野菜や果物の品種改良を行い、東北の農業の発展に貢献した。
1921 (大正10)	31代邦宗、伊達家の家系・歴代藩主の事跡・仙台城築城の経緯をまとめた『伊達家史叢談』を脱稿する。
1934 (昭和9)	霊山が国指定史跡及び名勝になる。
1946 (昭和21)	保原・梁川地方でメリヤス(ニット)製造はじまる。
2006 (平成18)	平成の大合併で「福島県伊達市」が誕生する。
2008 (平成20)	「伊達市所有の養蚕用具」2,530点が国登録有形民俗文化財になる。
2014 (平成26)	宮脇廃寺跡が国指定史跡になる。

伊達は伊達氏を育んだ揺籃の地!

県外の史跡

米沢

よねざわじょう

米沢城址

17代政宗が生まれた城



©米沢市

アクセス

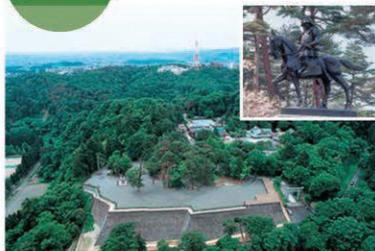
JR「米沢駅」発車バス「上杉神社前」から徒歩約3分
米沢駅より約10分

仙台

せんだいじょう

仙台城跡

江戸以降の伊達氏の居城



©仙台観光コンベンション協会

アクセス

JR「仙台駅」西口15-3番のりば 一歩る仙台「仙台城跡」徒歩約5分
仙台宮城Cより約20分

仙台

おおさきはちまんぐう

大崎八幡宮

安土桃山時代の文化を今に伝える



©仙台観光コンベンション協会

アクセス

JR「仙台駅」西口15-3番のりば 一歩る仙台「大崎八幡宮前」すぐ
仙台宮城Cより約20分

仙台

瑞鳳殿

杉木立に建つ政宗の霊屋(おたまや)



©公益財団法人 瑞鳳殿

アクセス

JR「仙台駅」西口15-3番のりば 一歩る仙台「瑞鳳殿前」徒歩約5分
仙台宮城Cより約15分

伊達市観光



8月中旬 伊達のふる里夏まつり
8月下旬 伊達もの里マラソン大会
8月下旬 霊山太鼓まつり

※イベントの内容や日程等は、都合により変更される場合があります。

22 旧亀岡家住宅

明治30(1897)年頃、伊達郡桑折町に亀岡正元によって建てられ、平成7(1995)年現在の地に移築された擬洋風の建造物です。外観は洋風、内部は1室を除き純和風の書院造りとなっています。平成28(2016)年には国の重要文化財となりました。建築材や彫刻にも注目! 埋もれ木使用の建物では公開しているのは、全国でここだけです。併設する歴史文化資料館にもぜひ立ち寄り。



所 保原町大泉宇宮脇265 伊達市保原総合公園内
P あり 024-575-1615
営 9:00~17:00
休 火曜(祝日の場合はその翌日)、12/28-1/4
交 JR「福島駅」から阿武隈急行電車で20分「大泉駅」下車、徒歩7分。東北自動車道「福島飯坂IC」より車で25分、または「国見IC」より車で25分。

オススメ桃狩り体験

とりたての桃を味わってみませんか。毎年8月上旬に行われる「桃狩り体験」は、出発地からバスで桃畑へ移動し、たわわに実った桃をその場で食べることができます。お得意いっばいで毎年参加する方々もいます。

桃狩り体験お問い合わせ 伊達市観光物産交流協会
営 午前10時~午後6時
参加費用は上記までお問い合わせください



23 ニット

日本有数のニット産地として純国産ニットメーカー直営店「あみだす」があります。常時約1,000点を販売、春と秋にはフェアが開催されます。散策中には嬉しいお茶のサービスも。

所 保原町8丁目11
営 024-574-2085
営 10:30~17:30 休 水曜
交 阿武隈急行「保原駅」から徒歩約15分。



伊達市の夏と言えば、何と言ってもモモ!



豆っこ汁 豆っこ汁は「栄養価の高い大豆」を生かして開発し、手作業でまるめて作る伊達の母ちゃんの味。
保原町商工会女性部 024-575-2284
保原振興公社 024-575-0203

JAふくしま未来 福島桃の恵み

桃がない季節でも桃を味わえる、果汁100%のジュースです。桃本来の味が楽しめる甘過ぎず、のど越しさっぱりオリジナルです。



24 つきだて花工房 宿泊をはじめ、ランチ、喫茶、日帰り入浴ができます。予算や人数で様々なプランを準備。5~7月にかけ敷地内には様々な花々が咲き乱れます。農園や工房など体験教室もズバリ(要予約)。野菜や山菜、手作り加工品等の土産も販売しています。

HP http://t-hanakobo.jp
所 月舘町下手渡寺窪7
P あり
営 024-573-3888
営 10:00~18:00 不定休
交 JR東北新幹線「福島駅」下車、タクシーで約30分(20km)。東北自動車道「福島西IC」または「福島飯坂IC」から約40分(25km)。

25 薬師堂

文化4(1807)年に再建された伊達市指定文化財。堂の向拝下にある龍や象などの彫刻が見事です。境内にはソメイヨシノなど約50本の桜が植えられています。
見 4月上旬(サクラ)
所 保原町字城内
P あり
交 阿武隈急行「保原駅」から徒歩で10分。

26 紅屋峠千本桜

伊達地方を見渡す公園で800本あまりの桜が楽しめます。
見 4月上旬
所 保原町柱田
P あり 保原総合支所 024-575-2111
交 東北自動車道「国見IC」から車で20分。



27 みらい百彩館 んめ〜べ

東北最大級の広さと品揃え!伊達地域産の安心・安全でフレッシュな野菜・くだものはここ農産物直売所「JAみらい百彩館「んめ〜べ」」へ。「んめ〜べ」とは地元の方言「おいしいでしょう」の意。「んめ〜」お土産はぜひここで。季節によって旬の野菜やきこご祭りの、野菜を使ったスイーツフェア、大特価市や収穫・加工体験会(要予約)等々開催中のイベントチェックもお忘れなく。桃・米・果汁100%ジュース等はwebショップでも取り扱っています(「伊達の蜜桃」で検索)。

HP http://www.rakuten.co.jp/datemirai/
所 雪町町19
P あり
営 024-551-2223
営 9:00~17:00
休 毎月第一水曜日(8、9、1月は除く)、年始(1/1~5)
交 JR「伊達駅」から徒歩約20分。

28 あんぽ柿

“あんぽ柿”は、ツヤのあるアメ色でロリと柔らかく、食物繊維・ビタミンA・カルシウム・カリウムたっぷり、健康食品としても注目されています。福島県でも東北地方の特産で、ここ伊達地域の梁川町五十沢が発祥の地です。生でいただく柿も出荷されていますが、ここに来たら是非あんぽ柿を。
食 10月加工開始~12月上旬~2月下旬出荷

29 やながわ希望の森公園

4~11月の土日祝日、園内をミニSL「さくら1号」が走ります。春には桜まつりが開かれ、2000本の桜とツツジが華やかに出迎えます。
所 梁川町字内山1
P あり
営 024-577-6100(管理事務所)
休 冬期閉園(11月中旬~3/31)
交 阿武隈急行「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩約5分(産業伝承館までSL運約6分)。東北自動車道「国見IC」から約20分。

30 くぼたあじさい公園

山舟生地区住民が協力して植栽した約1万本のアジサイが咲き誇ります。
見 7月上旬頃 あじさい祭り
所 梁川町山舟生
営 山舟生自治振興会 024-577-5489
交 阿武隈急行「富野駅」から車で10分。東北自動車道「国見IC」から25分。

31 からあげ伊達屋

伊達鶏の唐揚げや焼き鳥などテイクアウトできます。カレーやセットランチ、伊達鶏ラーメン、サラダバイキングが人気です。
所 梁川町東塩野川56-1
P あり
営 080-2809-6485
営 11:00~19:00
休 年中無休
交 阿武隈急行「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩15分。

32 あぶQウォーク

あぶQウォークは、花の見頃・地域のイベントなど「旬」に合わせて4月から12月まで開催されています。詳しくは阿武隈急行株式会社ホームページをご覧ください。
HP http://abukyu.co.jp
024-577-7132

33 りょうぜん紅彩館

食事、喫茶、宿泊、日帰り温泉が楽しめます。霊山エンジンをを使った旬のお膳、自家焙煎の極久里ブレンドコーヒーなどが味わえます。東北の秀峰として名高い霊山の登山拠点としても利用されています。
所 霊山町石田字宝司沢9-1
P あり
営 024-589-2233
営 10:00~20:00(12~3月は18:00まで)
休 毎月第4水曜
交 JR「福島駅」より約50分。阿武隈急行「保原駅」より約30分。東北自動車道「国見IC」より国道4号線→115号線を通り約60分。「福島西IC」より国道4号線→115号線を通り約70分。

34 霊山神社

北畠頼家らを祭神とし明治14(1881)年に建立。4月の例祭日には「藍鯨武楽」「大石北又獅子舞」が奉納され、大勢の参観があります。境内の紅葉は京都嵐山からの移植といわれ色鮮やかです。
所 霊山町大石字古屋館1
P あり
営 024-587-1326
営 8:00~17:00
休 無休
交 東北自動車道「福島西IC」「福島飯坂IC」から車で45分。JR「福島駅」からバスで60分・停留所「霊山神社」。

35 道の駅 伊達の郷 りょうぜん

山間と農村に浮かぶ道の駅は、旅人と地元の人が行き交う「宿場」であり、伊達の美味しいもの「伊達食」に出会える「ピストロ」でもあります。こだわりの伊達市産農産物や「伊達」のおみやげも取り揃えています。
所 霊山町下小国字桜町3-1
P あり
営 024-573-4880
休 1月1日(他、臨時休館日あり)
交 東北自動車道「国見IC」から車で約35分。東北自動車道「福島西IC」から車で約35分。東北中央自動車道(相馬福島道路)「霊山IC」そば。

28 あんぽ柿

“あんぽ柿”は、ツヤのあるアメ色でロリと柔らかく、食物繊維・ビタミンA・カルシウム・カリウムたっぷり、健康食品としても注目されています。福島県でも東北地方の特産で、ここ伊達地域の梁川町五十沢が発祥の地です。生でいただく柿も出荷されていますが、ここに来たら是非あんぽ柿を。
食 10月加工開始~12月上旬~2月下旬出荷



31 からあげ伊達屋

伊達鶏の唐揚げや焼き鳥などテイクアウトできます。カレーやセットランチ、伊達鶏ラーメン、サラダバイキングが人気です。
所 梁川町東塩野川56-1
P あり
営 080-2809-6485
営 11:00~19:00
休 年中無休
交 阿武隈急行「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩15分。

33 りょうぜん紅彩館

食事、喫茶、宿泊、日帰り温泉が楽しめます。霊山エンジンをを使った旬のお膳、自家焙煎の極久里ブレンドコーヒーなどが味わえます。東北の秀峰として名高い霊山の登山拠点としても利用されています。
所 霊山町石田字宝司沢9-1
P あり
営 024-589-2233
営 10:00~20:00(12~3月は18:00まで)
休 毎月第4水曜
交 JR「福島駅」より約50分。阿武隈急行「保原駅」より約30分。東北自動車道「国見IC」より国道4号線→115号線を通り約60分。「福島西IC」より国道4号線→115号線を通り約70分。

35 道の駅 伊達の郷 りょうぜん

山間と農村に浮かぶ道の駅は、旅人と地元の人が行き交う「宿場」であり、伊達の美味しいもの「伊達食」に出会える「ピストロ」でもあります。こだわりの伊達市産農産物や「伊達」のおみやげも取り揃えています。
所 霊山町下小国字桜町3-1
P あり
営 024-573-4880
休 1月1日(他、臨時休館日あり)
交 東北自動車道「国見IC」から車で約35分。東北自動車道「福島西IC」から車で約35分。東北中央自動車道(相馬福島道路)「霊山IC」そば。

伊達市の観光は、伊達市観光物産交流協会までお問い合わせください

伊達市観光物産交流協会(阿武隈急行保原駅構内)
024-529-7779 観光情報ポータルサイト
〒960-0671 だてめがね 検索
福島県伊達市保原町字東野崎45-9
http://www.date-shi.jp/
営 10:00~18:00 P あり 休 毎週水曜日 date-kan@ia8.itkeeper.ne.jp



29 やながわ希望の森公園

4~11月の土日祝日、園内をミニSL「さくら1号」が走ります。春には桜まつりが開かれ、2000本の桜とツツジが華やかに出迎えます。
所 梁川町字内山1
P あり
営 024-577-6100(管理事務所)
休 冬期閉園(11月中旬~3/31)
交 阿武隈急行「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩約5分(産業伝承館までSL運約6分)。東北自動車道「国見IC」から約20分。



30 くぼたあじさい公園

山舟生地区住民が協力して植栽した約1万本のアジサイが咲き誇ります。
見 7月上旬頃 あじさい祭り
所 梁川町山舟生
営 山舟生自治振興会 024-577-5489
交 阿武隈急行「富野駅」から車で10分。東北自動車道「国見IC」から25分。



32 あぶQウォーク

あぶQウォークは、花の見頃・地域のイベントなど「旬」に合わせて4月から12月まで開催されています。詳しくは阿武隈急行株式会社ホームページをご覧ください。
HP http://abukyu.co.jp
024-577-7132

34 霊山神社

北畠頼家らを祭神とし明治14(1881)年に建立。4月の例祭日には「藍鯨武楽」「大石北又獅子舞」が奉納され、大勢の参観があります。境内の紅葉は京都嵐山からの移植といわれ色鮮やかです。
所 霊山町大石字古屋館1
P あり
営 024-587-1326
営 8:00~17:00
休 無休
交 東北自動車道「福島西IC」「福島飯坂IC」から車で45分。JR「福島駅」からバスで60分・停留所「霊山神社」。

35 道の駅 伊達の郷 りょうぜん

山間と農村に浮かぶ道の駅は、旅人と地元の人が行き交う「宿場」であり、伊達の美味しいもの「伊達食」に出会える「ピストロ」でもあります。こだわりの伊達市産農産物や「伊達」のおみやげも取り揃えています。
所 霊山町下小国字桜町3-1
P あり
営 024-573-4880
休 1月1日(他、臨時休館日あり)
交 東北自動車道「国見IC」から車で約35分。東北自動車道「福島西IC」から車で約35分。東北中央自動車道(相馬福島道路)「霊山IC」そば。



28 あんぽ柿

“あんぽ柿”は、ツヤのあるアメ色でロリと柔らかく、食物繊維・ビタミンA・カルシウム・カリウムたっぷり、健康食品としても注目されています。福島県でも東北地方の特産で、ここ伊達地域の梁川町五十沢が発祥の地です。生でいただく柿も出荷されていますが、ここに来たら是非あんぽ柿を。
食 10月加工開始~12月上旬~2月下旬出荷



31 からあげ伊達屋

伊達鶏の唐揚げや焼き鳥などテイクアウトできます。カレーやセットランチ、伊達鶏ラーメン、サラダバイキングが人気です。
所 梁川町東塩野川56-1
P あり
営 080-2809-6485
営 11:00~19:00
休 年中無休
交 阿武隈急行「やながわ希望の森公園前駅」から徒歩15分。

33 りょうぜん紅彩館

食事、喫茶、宿泊、日帰り温泉が楽しめます。霊山エンジンをを使った旬のお膳、自家焙煎の極久里ブレンドコーヒーなどが味わえます。東北の秀峰として名高い霊山の登山拠点としても利用されています。
所 霊山町石田字宝司沢9-1
P あり
営 024-589-2233
営 10:00~20:00(12~3月は18:00まで)
休 毎月第4水曜
交 JR「福島駅」より約50分。阿武隈急行「保原駅」より約30分。東北自動車道「国見IC」より国道4号線→115号線を通り約60分。「福島西IC」より国道4号線→115号線を通り約70分。

34 霊山神社

北畠頼家らを祭神とし明治14(1881)年に建立。4月の例祭日には「藍鯨武楽」「大石北又獅子舞」が奉納され、大勢の参観があります。境内の紅葉は京都嵐山からの移植といわれ色鮮やかです。
所 霊山町大石字古屋館1
P あり
営 024-587-1326
営 8:00~17:00
休 無休
交 東北自動車道「福島西IC」「福島飯坂IC」から車で45分。JR「福島駅」からバスで60分・停留所「霊山神社」。

35 道の駅 伊達の郷 りょうぜん

山間と農村に浮かぶ道の駅は、旅人と地元の人が行き交う「宿場」であり、伊達の美味しいもの「伊達食」に出会える「ピストロ」でもあります。こだわりの伊達市産農産物や「伊達」のおみやげも取り揃えています。
所 霊山町下小国字桜町3-1
P あり
営 024-573-4880
休 1月1日(他、臨時休館日あり)
交 東北自動車道「国見IC」から車で約35分。東北自動車道「福島西IC」から車で約35分。東北中央自動車道(相馬福島道路)「霊山IC」そば。



